

消費財における 混乱リスクの管理


 Shinya Ohta
IDC のシニアアナリスト
(消費財サプライチェーン領域)

表面的な様相からの掘り下げ： 複雑に見える世界的な混乱を 解き明かす

世界的な混乱がサプライチェーンに及ぼしてきた影響とは
(回答者による比率)



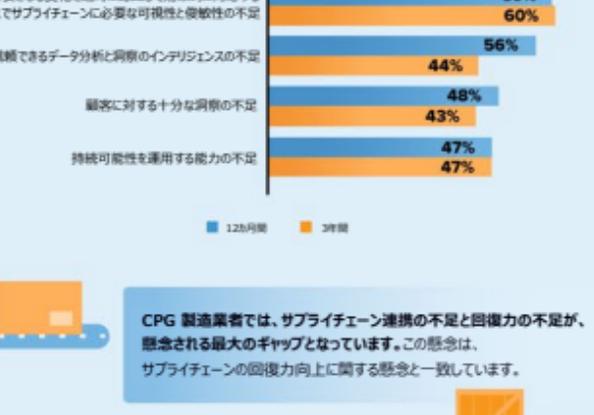
コストと遅延の増加は、経験した消費財(CPG)企業の
ほぼ2/3に継続的な影響を及ぼしています。

港湾の混雑、運転手の不足、燃料費の上昇に
起因する遅延と大幅な価格上昇によって、
輸送上の問題が特に深刻になっています。

n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

対処が必要となる深刻なギャップ

サプライチェーンの今後を考慮したとき、
解決しないと大きな問題となるギャップとは
(回答者による比率)



CPG 製造業者では、サプライチェーン連携の不足と回復力の不足が、
懸念される最大のギャップとなっています。この懸念は、
サプライチェーンの回復力向上に関する懸念と一致しています。

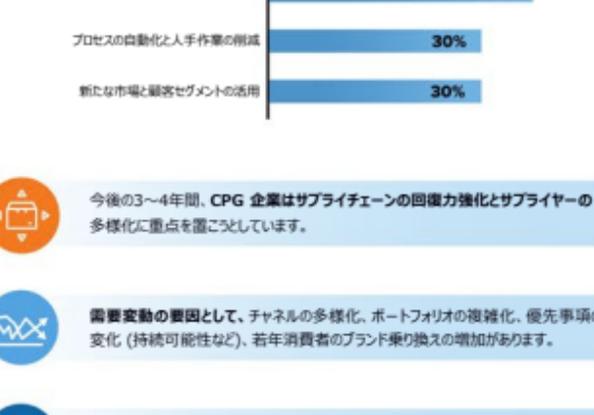
CPG 企業は、その連携能力の引き上げと充実化を図り、
不測の事象に良好な対応がとれる立ち位置を確保して、
データをより効果的に利用できるようなする必要があります。

分析から行動につながるデータを取り込み、包括的な分析を適用したうえで
適切な行動を迅速に起こすことを目標とする必要があります。

n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

ビジネス上の優先事項

今後の3年間、
組織でビジネス上の優先事項となる上位3件とは
(回答者による比率)



今後の3〜4年間、CPG 企業はサプライチェーンの回復力強化とサプライヤーの
多様化に重点を置こうとしています。

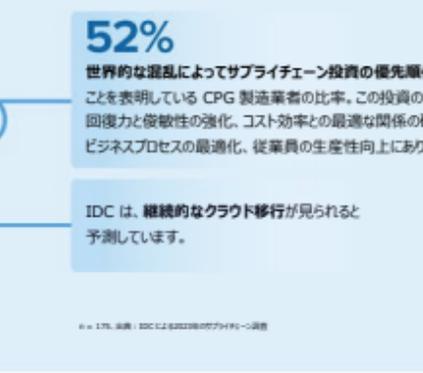
需要変動の要因として、チャネルの多様化、ポートフォリオの複雑化、優先事項の
変化 (持続可能性など)、若年消費者のブランド乗り換えの増加があります。

サプライヤーの多様化とは、グローバルな調達戦略を再検討して、
価格、リスクプロファイル、信頼性の適切な相互関係を追求することです。

n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

CPG のサプライチェーンにおける 主な機能的重点領域

来年以降の3年間で重視視しようとしている領域とは
(回答者による比率)



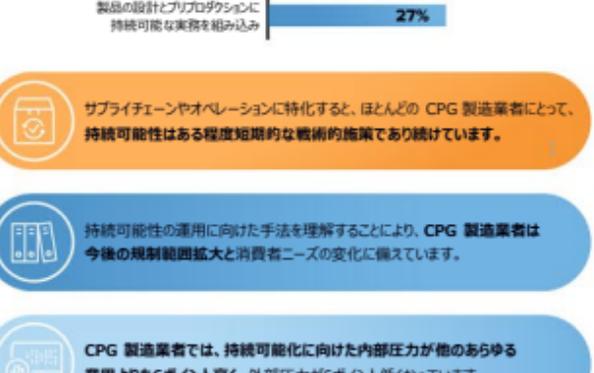
52%
世界的な混乱によってサプライチェーン投資の優先順位が高くなる
ことを表明している CPG 製造業者の比率。この投資の目的は、
回復力と俊敏性の強化、コスト効率との最適な関係の確立、
ビジネスプロセスの最適化、従業員の生産性向上にあります。

IDC は、継続的なクラウド移行が見られると
予測しています。

n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

持続可能性の運用可能化

サプライチェーンの中で
持続可能性をどの程度まで運用できるようにするか
(回答者による比率)



サプライチェーンやオペレーションに特化すると、ほとんどの CPG 製造業者にとって、
持続可能性はある程度短期的な戦略的施策であり続けています。

持続可能性の運用に向けた手法を理解することにより、CPG 製造業者は
今後の規制範囲拡大と消費者ニーズの変化に備えています。

CPG 製造業者では、持続可能性に向けた内部圧力が他のあらゆる
業界よりも6ポイント高く、外部圧力が6ポイント低くなっています。

n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

グローバルサプライチェーンにおける リスク管理

サプライチェーンでのリスク低減に向けて実施する手順とは
(回答者による比率)



**可視性が
常に最上位**
特に多量の可視性を
重視

サプライチェーンの
リスクからの回復力を
CPG 企業が確保するには、
状況を把握し、効果的な
対応を展開するうえで
十分な俊敏性を備える
必要があります。

予測可能な
リスクだけでなく、
予測不可能なリスクにも
迅速に対応するように
備えます。



n = 178, 調査： IDC は Blue Yonder のプラットフォーム調査

今後の CPG サプライチェーン

- データの品質に留意しながら、分析から行動につながるデータを重視。**
- 規模の大小に関係なく、内部と外部双方の混乱からの回復力を確保。**
- 多層の可視性：可視化不能な問題は早期発見に努める。**
- 可能な限り、予測能力と予見能力を発揮し、予測不可能な場合は迅速な行動を展開。**

スポンサーからのメッセージ



Blue Yonder は、サプライチェーンのデジタル変革で世界的なリーダー企業です。世界中の小売業者、製造業者、物流業者が、計画から fulfillment、配送、返品に至るサプライチェーンの最適化で Blue Yonder を活用しています。Blue Yonder は、AI を組み込んで相互運用可能なサプライチェーンソリューションを提供しています。このソリューションは、統合プラットフォームとデータクラウドを通じてエンドユーザーとつながり、複数の業務機能にわたってリアルタイムの連携を実現できます。これにより、俊敏な意思決定、顧客満足度の向上、収益性に優れた成長、これまで以上の回復力と持続可能性を備えたサプライチェーンをサポートします。

[IDC はこちら](#)

Microsoft
Microsoft はデジタル変革を可能にすることで、インテリジェントクラウドとインテリジェントエッジの時代を実現します。そのミッションは、地球上のあらゆる人や組織に力を与え、さらなる達成をもたらすことです。

[IDC はこちら](#)